

一人では できないこと

坂中学校二年
木村 結菜

私が家族のやさしさに
気付いたのは苦しかった
ときだった。

小学六年生の時、私は
委員会で委員長を務め
た。最初はこうしたらよ
いか分からず、担当の先
生や副委員長と一緒に考
えていたが、そのうち一
人で考えるようになって
しまった。私は昔から人
に頼る事ができなかった。
「一人で考える方が
早い。」「これぐらいで
頼っていいの？」とい
ろいろなことを考えては
別に大丈夫だと自分に言
い聞かせ、頼ることから
逃げてしまっていた。そ
して一人だけで頑張っ
ているうちに、たくさんの
不安をかかえてしまっ
た。そして結局、どん

一人で時間をかけて計
画したことでも他の意見
でくつがえってしまっ
り、変わってしまった
した。人をまとめること
の大変さを知った。

あの時は全部一人で
かかえ込まないといけ
ないのだと思いついて
いた。周りは助けてくれ
ないのだと本気で思っ
た。毎日くるしくて泣
いていた。

一人ですべての時間を
かけてありがとう」とい
葉の絵が描かれていた。
んなに優しい言葉は初
めで嬉しくて私は泣き
うだった。これも家族
の優しさだったのだ。

た。あの新聞は、母と父
が連れていってくれな
かったらできなかったと
思う。

何とかなる

坂中学校 三年
池田 美結

私は中学二年生、いわ
ゆる「思春期」です。思
春期には、悩みを抱き
やすくなると思います。
生きている上で、悩み
うものは尽きませんが、
特に思春期は、心身も
に成長が進む時期であ
り、その過程で悩み、
不安などを抱きやすくな
ることです。

その時は、その「悩
み」に、どう向き合っ
ていけばいいのかという
疑問が生まれました。誰
もが一度は悩みを抱き
ます。そこからどうや
って解決へと導くのか、
どうやって向き合っ
ていけばいいのかと思
いました。

中で、今が一番多くの悩
みを抱えていると感じま
す。中学生になって表彰
やテストの成績など、評
価される場面が多くなり、
他人との比較をしてしま
います。また、先輩、後
輩などの上下関係も出
きて、ストレスをためこ
むことも増えてきました。
そんな悩みができたとき、
私はどのように向き
合い、解決へと導くた
めに何をしているのだら
うと思いついてみるの
です。すると、意外にも
私は悩みができたとき、
あまり解決しようと考
えないことに気がつき
ました。以前は悩みや不安
があると、「解決しない
と」と考えるのが普通
でした。でも、私はある
言葉と出会ってからは、
悩みを解決につなげよう
とすることが減りました。
「何とかなる。」「これ
が私にとって大切な言葉
です。」「何とかなる」と
結果がどうなってもど
うにか乗りこえられる
という私なりの考えです。
私はもともと何事にも

ガティブな考えを持って
しまうので、悩みという
存在が自分の歩を止める
おもりとなり、解決へ
導くことができません
でした。しかし、「自分
ダメだな」と考えるより
も、「何とかなる」と考
え、無理に解決しようと
しない方が、前向きに、
ポジティブに物事を考
えられるようになります。
信がつかまりました。私
一人で抱えこんでいた
悩みは、「何とかなる」と
いう言葉によって視野
が広がり、今まで見え
なかつたものが見えて
くるようになりました。

準備期間であり、大人
になるとさらに今より
多くの悩みや不安が出
てくると思います。その
中で、「何とかなる」と
いう考えを常に持つ。そ
れによって「悩み」を、
自分の歩を止めるおも
りではなく、自分を進
めてくれるエンジンに
変えて、常に前へ進ん
でいきたいです。

インターネット について

坂中学校 三年
平賀 花

今、世界中で使われて
いるもの。生活には欠か
せないものであって私
達のすぐそばにあるも
の。それはインターネット
です。世界中の情報が
集まってくる中、その
情報には私達でも制限
なく簡単に見られるよ
うになっています。

自分にとって必要な
情報も必要でない情報
も全てが得られる便利
な時代だと感じます。
母は私にスマートフォン
を持たせたとき、

「正しい情報の選別を
しっかりとしないと困
るから、何でも信じ
ずぎちゃダメだから
ね。」と言いました。
正しい情報の選別とい
うものが、どのよう
なことをかあま深い
くは考えていなかった
のですが、今考えてみ
るとそれは、情報社会
である現代には必要
不可欠なことだと思
います。なぜかという
と、正しい内容だと
信じていたものが、実
は根拠のない話だっ
たり伝える側の工夫
次第で見方も大きく
変わります。さらに、
そのようなことで巻
き込まれるトラブル
も増えています。また、
その情報を鵜呑みに
してしまっただけで
なく、生活にも影響
を与える可能性があります。
そこで、情報を得
て、活用することで暮
らしている私達も、
豊かになっていく私
達も、そのようにして
インターネットと付き
合っていくべきか考
えました。その時思
い出したのが、母が
言っていた「情報の選

別」でした。選別とは選
び分けることです。根
拠を探し、情報を発信
した人の意図を読み取
ることができれば、そ
の情報の信頼度が大き
く変わります。その
信頼度によって、最
最終的にその内容を
活用するかしないか
を選びます。実際、
専門的な話を知ら
ずして認めた事実
から話を深めたり、
発信者が専門的な資
格を得ていたりすると、
内容の正確さが一気
に増えます。医療や食
などの情報は、信頼
性が高い話ほど、必
ず根拠がつけられて
います。そして、情
報は知る以外にも、
共有しあうことで活
用するものもありま
す。その時に必要な
情報は、信じすぎな
いことと、受け入れ
ることです。インタ
ーネットという壁を
挟んでの会話は、瞬
間の場面しか切り取
れません。嘘の話であ
っても、ばれなければ
いけません。その一
つの情報に惑わされ
て信じてしまっ